

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量が50%増えた。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街近くにオープン（3月4日）した歴史博物館の集客力が大きく、イベントとの相乗効果とあわせて多くの来街客でにぎわっている。また、大型の外国客船入港の影響も加わり、街全体がかなりにぎわっている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が増加し始めた。売上も前年を超えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月の新車受注台数が、前年比3割増で推移している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・販売量が増えつつあり、販売単価も上昇傾向にある。自動ブレーキ搭載車への代替え需要が今後も続く予想される。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・景気が良くなったわけではないが、前年より来客数（宿泊数・歓送迎会等）が増えた。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数が春休み序盤よりも少し増えている。また、低調が続いていたレストランもこのところ客数が増加し、客単価も若干上昇している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・春になりお遍路の仕事が少しずつ増えているが、昨年よりお遍路さんは随分少ない。街では、歓送迎会などで少し良くなっている程度。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・卒業式や入学式で全体に活気があり、普段はしないメニューのオーダーが入った。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業シーズンで来客数が多かった。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・土日祝を中心に通行量もあり、街には活気が見られる。しかし、肌寒い日が多く、アパレルや季節雑貨の動きが特に悪い。政府への不信を募らせる報道が多く、消費者の財布のひもをより固くしている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・依然として、顧客動向が停滞気味に感じられる。特に若年層の来店数が減っており、消費自体も減少している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・送別用商品は平年並みの単価・数量で動いた。また、法人向け御祝商品も良く動いた。しかし、繁華街の人出は少なくなってきたように思う。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・飲食店向けの納品量は例年と変わらないものの、一般家庭へはスーパーやディスカウント店で購入しているせいか、ほぼゼロに等しい。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月前半は好調で、後半は初開催の美術催事が集客・売上につながり、うるう年で1日多かったことを除けば前年実績を上回った。しかしながら、衣料品やシーズン雑貨は気温が低く推移した影響から、春物の動きが鈍く苦戦している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は安定しているが、増えてはいない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・客は価格に敏感になっている。価格など販売促進を強化中で、客数に回復の兆しが見える。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温に恵まれ、企業努力の甲斐あって、来店客数と客単価が前年を上回っている。景気が良くなっているわけではない。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・気温の上昇が遅いこともあって春物衣料の動きが悪く、販売量は前年をやや下回っている。来客数も前年より減少しており、特に年配客の動きが鈍い。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・決算月に入り、数多くの企画・キャンペーンを打ったが、お客様の様子は例年と変わらない。過去に販売した乗用車の車検が3月に到来するユーザーが多いため、例月より代替していただくお客様が多いのは毎年のこと。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	販売量の動き	・業種によりバラツキが大きい。衣料品店では厳しい状況が続いている。	
	旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・個人向け企画商品（海外）が昨年と比べて少し良い。インターネット販売・インバウンドも好調であるが、リアル店舗が四国各支店とも前年割れが続いている。	

	通信会社（企画）	お客様の様子	・加入数は増加しているが、季節要因が大きく影響して前年と変わらない。
	通信会社（支店長）	来客数の動き	・春商戦期であるが、目立った動きは感じられない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・個人消費が上向く傾向は見られない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・季節的に非常に良い環境なのに、来場者は伸びていない。
	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・入学、就職シーズンを迎え、生活用品や家電製品を中心に売上増が見込まれるが、3か月前の年末商戦やクリスマス商戦を上回るような消費力増加には至っていない。
	商店街（代表者）	それ以外	・時代とともに消費行動が大きく変化している。百貨店の低迷がその象徴であり、ネット利用者の急増は今後、しばらくはとどまることはない。旧来の商店街や個店専門店、この時代変化に対応できない。
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は前年比プラスだが、外商売上は大きく落ち込んでいる。3月は入学祝いなどで図書カードが伸びるのだが、今年は前年より需要が減少している。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・競合店の出店が続き、顧客の買い回りが顕著になっている。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・季節の変わり目に当たる3月は春物衣料が売れて比較的良い時期なのに、今年は気温が低い日が多く、結果的には微減となった。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・とにかく来客数が少ない。衣料品販売は景気に大きく左右され、将来的にも良い傾向が見えない。
	家電量販店（副店長）	競争相手の様子	・競合店、決算セール等でお客様が回遊し、来客数は前年を下回っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・お客様の様子、売上、乗車回数で判断した。例年と比べて、送別会等が少なかった。
	x コンビニ（店長）	販売量の動き	・3月後半になっても一向に改善の気配が見えない。特に観光客需要が激減している。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-
	*	*	*
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少し春めいてきて、2月よりは小売店頭での商品の動きが良くなっている。しかし、ネット業者に消費が流れている傾向もあり、小売段階での競合が起きている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時ほど新商品の売上が伸びない。新工場ができた後にどうなるか、注視しなければならない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光設備の大型受注があり、ほっとしている。弊社を取り巻く環境は変わっていないが、仕事が始まれば景気は良くなる。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事の事業内容・業種が偏っているため、業績が好調な企業とそうでない企業とに二極化され、全体的には売上等に大きな変化はない。しかし、来年度の自治体の公共事業予算減が判明し、景況感は良くない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ1か月で公共工事を2、3件受注できたが、民間工事が芳しくない。
	建設業（総務）	取引先の様子	・公共工事は期末を迎えた慌ただしさがある一方、民間工事は落ち着いている。
	輸送業（営業）	取引先の様子	・業績不振や人手不足を理由に、3月末をもって廃業する小規模な荷主が相次いでいる。廃業は荷主だけでなく、輸送協力会社である小規模な同業者にも広がっており、いままで輸送を委託してきた元請け業者にとっても輸送力低下に結びつく深刻な状態になりつつある。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の動向から、直近3か月間の運転資金需要に大きな変化はみられない。
	公認会計士	取引先の様子	・顧客の試算表、決算書を見ると、ほとんどの企業が前年と変わらない状況が続いている。一部、道後のホテル等は若干上向いているようだ。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・今年に入って青果物卸売市場は、数量は前年並みややや減少しており、単価安の傾向が続いている。例年3月は需要が増え、荷動きが活発化する時期なのだが、今年は動きが鈍く、この時期としては低調な販売が続いている。また、花冷えで花見等の行楽需要も増えそうにない。

	鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・受注・売上量が減少し、受注・販売価格も低下傾向にある。さらに主要材料のスクラップ価格が上昇しており、採算は悪化している。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要はおおむね堅調に推移しているが、建設用クレーンの需要は減少している。海外需要は国・地域、月によってばらつきが見られるものの、2012年度をピークに減少が続いている。	
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると、販売量が減少している。ただ、前々月・前月より微増しているので悲観的な見方はしていない。	
	x	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・引っ越し繁忙期なのに会社の方針で、長時間労働対策として引っ越しの受託件数を絞っている。臨時便等の発送量も激減している。
雇用 関連 (四国)	-	-	-	
	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・採用活動が解禁となり、企業は採用面接等の機会を増やしている。人材確保の競争が近年激化していることもあり、通常の人事計画より多めの採用枠を想定している印象を受ける。	
	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・派遣社員を直接雇用に変更する動きが顕著になってきており、人手不足を感じさせる。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・2月の有効求人倍率は1.45倍で、昨年10月以降1.4倍台が続いている。	
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・平成29年度卒業生への採用活動が解禁となり、求人数が急速に増大している。加えて、平成28年度卒業生への求人も引き続き見られる。	
	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・愛媛県内全域で求人難が続いている。求人誌掲載、ハローワークにて多くの企業が求人を出しているが、応募が少なく解決策が見い出せていない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・景気は低迷気味で安定している。	
	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・3月に入り、独自の企業説明会を実施する企業が昨年より増えている。今年度、採用予定数に満たなかった企業は、焦りにも似た気持ちで説明会を実施しているようだ。特に中小零細企業でこの傾向が見られる。	
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・企業からの派遣依頼は増加しているが、派遣で働いてくれる求職者が激減しており、就労につながらない。業界の景気を懸念する。	
x	-	-	-	